

### 凡例

- 案内所
- お手洗
- 駐車場
- ガソリンスタンド
- バス停
- 通行禁止
- P23に掲載のフェリストラ
- P23に掲載のお土産処・ショップ
- スタンプ設置場所(P14参照)
- 宿泊可能な宿坊(P12参照)

### 壇上伽藍 [だんじょうがらん]

高野山の二大聖地のひとつ。弘法大師が真言密教の根本道場を開くにあたり最初に整備に着手した場所です。境内には根本大塔、金堂など19の建造物が建ち並びます。

**御影堂 [みえどう]**  
弘法大師がお住まいになっていたとされるお堂。弘法大師の御影が祀られてから、御影堂と呼ばれています。御夜夜法会(おたいやほうえい)の後のみ、一般内拝が許されています。

**御社 [みやしろ]**  
弘法大師が高野山を開いた際、守り神として、丹生明神、高野明神を勧請した社。高野山の神仏習合の象徴です。

**壇上伽藍 拡大図**  
平成27年 4月2日 中門落成

### 根本大塔 [こんぽんだいとう]

真言密教の根本道場のシンボルとして建てられた、高さ48.5mの日本で最初の多宝塔。大塔内陣は曼荼羅の世界を立体的に表現しており、胎藏界と金剛界をひとつに融合した空海独自の立体曼荼羅となっています。(拝観料200円)

**金堂 [こんどう]**  
伽藍の中央にあり、高野山の総本堂。重要な行事のほとんどがここで執り行われます。御本尊は秘仏となっています。御本尊は秘仏となっています。(拝観料200円)

### 奥之院 [おくのいん]

壇上伽藍とともに高野山の二大聖地。一の橋から御廟まで約2kmの参道には、約20万基を超える諸大名の墓石や、祈念碑、慰霊碑の数々が樹齢約700年の杉木立の中に建ち並んでいます。

**御廟橋 [ごびょうばし]**  
弘法大師御廟は大師信仰の中心聖地。御廟橋より先は聖域であり、写真撮影は禁止。橋の手前で服装を直し、一礼して渡りましょう。

### 高野山マップ

**世界遺産**

- 大門口 [だいもんち]**  
高野山の総門であり、結界のシンボル。左右には金剛力士像が安置されています。大門口付近は眺望もよく、四国や淡路の山々が見えることも。
- 徳川家霊台 [とくがわけいだい]**  
寛永20(1643)年、三代将軍家光が建立した江戸時代の代表的な建築物。建物の内部は漆、金箔、壁画等で装飾されています。(拝観料200円)
- 金剛峯寺 [こんこうほうじ]**  
高野山真言宗の総本山。高野山全体の宗務が行われており、住職には高野山真言宗管長が就任するしきたりになっています。国内最大級の石庭「福龍庭(はんにゅうてい)」や野野派の秘藏など見どころが多数あります。(拝観料500円)
- 御堂堂 [みどうどう]**  
御堂通心と石道丸の悲話が残るお堂。この悲話は、能や浄瑠璃の演目として広く知られています。
- 金剛三昧院 [こんこうさんまいいん]**  
尼将軍北条政子が、夫・源頼朝と息子・実朝の菩提を弔うために建立。国宝の多宝塔をはじめ、5月初旬から境内いっぱい咲くシャクナゲの花も有名。

### 高野山 奥の院

**世界遺産**

- 中之橋 [なかのばし]**  
父母恩重之碑、芭蕉句碑、親賢聖人供養塔、観音聖人供養塔、与謝野高子歌碑、化粧地藏
- 一の橋 [いちのばし]**  
父母恩重之碑、芭蕉句碑、親賢聖人供養塔、観音聖人供養塔、与謝野高子歌碑、化粧地藏
- 一の橋案内所**
- 中之橋案内所**

### 高野山上海りりんかんバス路線図

高野山駅前	(一の橋口経由)	奥の院 前
高野山駅前	(奥の院口経由)	奥の院 前
高野山駅前	奥の院 口	奥の院 前
高野山駅前	高野龍神線	高野龍神スカイライン・摩 摩 壇 上
高野山駅前	立 里 線	高野山駅前(高野龍神スカイライン)・立 里
高野山駅前	(奥の院前経由)	夜 峠 下
奥の院前	大 門	大 門
高野山駅前	大塔口	大 門
高野山駅前	金剛峯寺前	大 門
高野山駅前	霊宝館前	大 門
高野山駅前	千手院橋	大 門
高野山駅前	小田原渡り	大 門
高野山駅前	蓮花台	大 門
高野山駅前	双葉寺前	大 門
高野山駅前	一の橋口	大 門
高野山駅前	玉川通り	大 門
高野山駅前	奥の院前	大 門
高野山駅前	熊谷寺	大 門
高野山駅前	高野山駅前	大 門